［診療部］

消化器センター

センター長　西元　史哉

2024年度の消化器センターは内科３名、外科４名で診療を行なってきた。内視鏡室は４室あり、月曜日から土曜日にかけて内視鏡検査を行なっている。

病気の早期発見をめざし、市検診など地域の要望に応えられるように努力している。特に大腸がんも増えており、便潜血反応には早急に内視鏡検査を行っている。

治療面では早期の食道癌、胃癌、そし大腸癌に対してはESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)を行なっているが、その適応から外れて手術になる症例に対しても迅速に当センターで対応し、腹腔鏡手術へ移行できるようにしている。また昨年から開始した超音波内視鏡検査もようやく軌道に乗ってきており、胆嚢ポリープや膵のう胞などに加え、近年増加している膵胆道癌の発見にも尽力していきたい。

また、集学的治療としての化学療法も行なっており、消化器癌(腫瘍)全般に対応している。高齢患者や状態悪化例についても、少しでも改善へ導けるよう診療していきたい。

人手不足などでままならない事もあるが、外科分野・内科分野をスムースに移行できるよう、全員が協力して検査・手術など地域のニーズに応えられるような消化器センターを目指している。

消化器センター組織図

